

これで失敗しない！

クラウド環境へ安全に接続するための ネットワークサービスの選び方

～ 納期・コスト・通信品質をクリアした4つの事例付き ～

ARTERIA

アルテリア・ネットワークス株式会社

目次

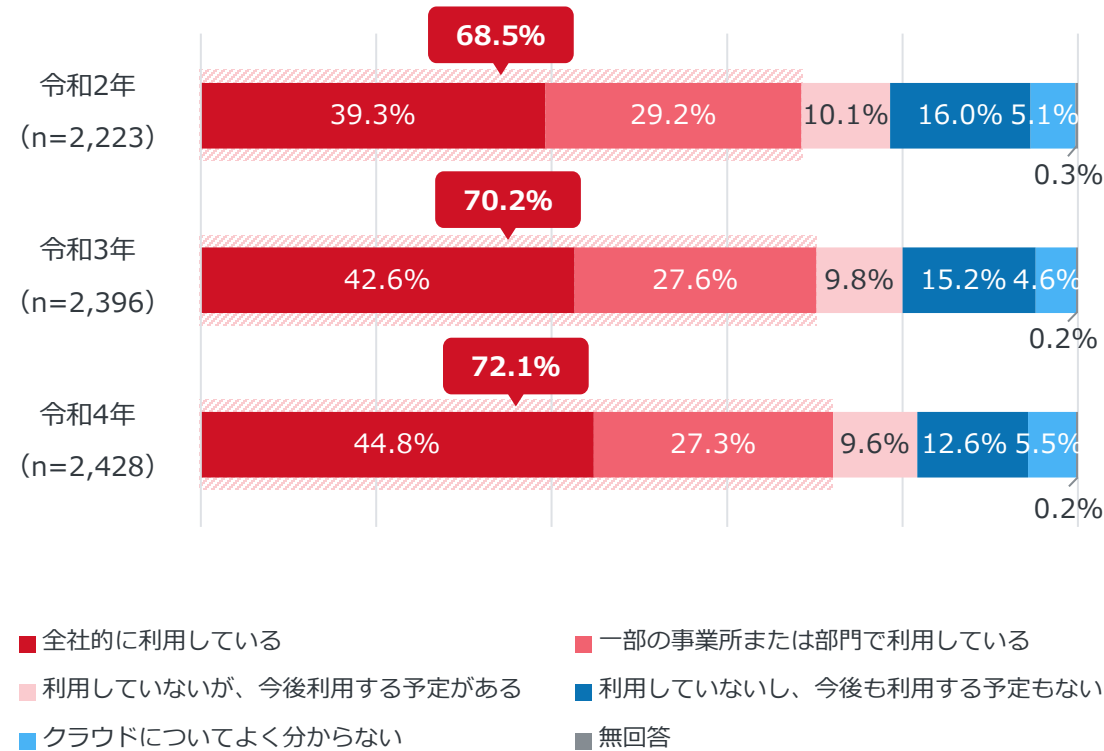
1. 普及するクラウド	P3
2. クラウド環境の種類	P4
3. クラウド接続の留意点	P6
4. クラウドと社内をつなぐ3種類の接続方法	P7
5. クラウド接続するネットワークサービスを選ぶポイント	P8
6. アルテリアの「セキュアクラウドアクセス」とは？	P9
7. 安全かつ快適なクラウド接続を実現した事例	
①AWSと本社間の安全な接続に利用 日本テレビ放送網株式会社様	P11
②大容量データ配信に10Gbps回線と専用線を導入 株式会社クレッセント様	P12
③通信速度の改善とコスト削減を実現 株式会社快活フロンティア様	P13
④データ移行のため2本の専用線を導入 株式会社サイバーエージェント様	P14

1. 普及するクラウド

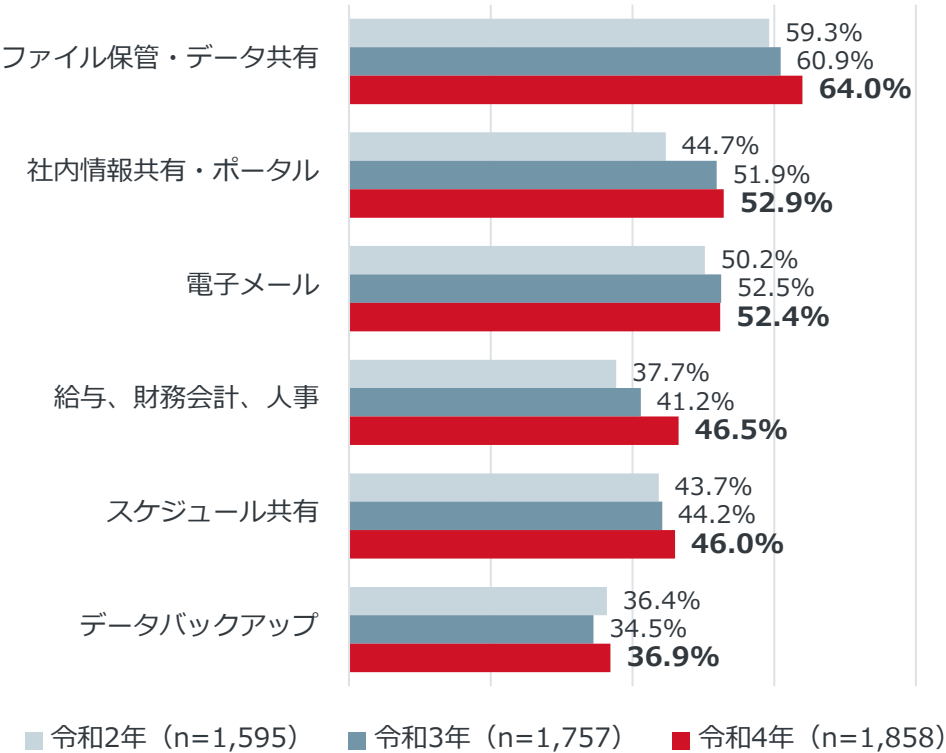
クラウドを利用する企業は増加傾向にあります。総務省の令和4年通信利用動向調査報告書（企業編）によると、7割以上の企業がクラウドを「全社的に利用している」「一部の事業所または部門で利用している」と回答していることがわかりました。

クラウドの用途としてファイル保管や社内情報共有、電子メール、給与・財務会計、スケジュール共有などが見られ、その用途が広がっていると考えられます。

クラウドコンピューティングの利用状況

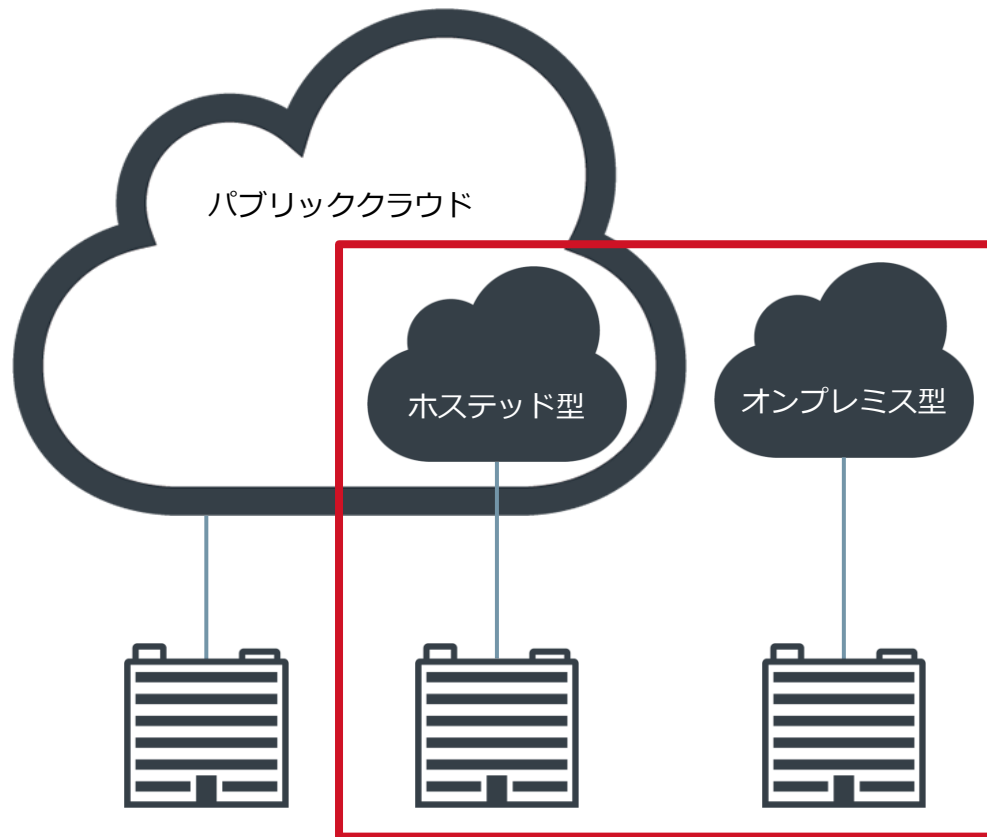


具体的に利用しているクラウドサービス



2. クラウド環境の種類

クラウド環境は、他の利用者と共有する「パブリッククラウド」と、自社専用の環境を構築できる「プライベートクラウド」に大別できます。さらにプライベートクラウドは、オンプレミス型とホステッド型に分かれます。



パブリッククラウド

- 提供会社が管理・運用しているため自社の負担は少ない
- セキュリティ体制や障害対応は提供会社に依存する
- 主に従量課金制で利用でき、**コストを抑えたい企業におすすめ**

ホステッド型プライベートクラウド

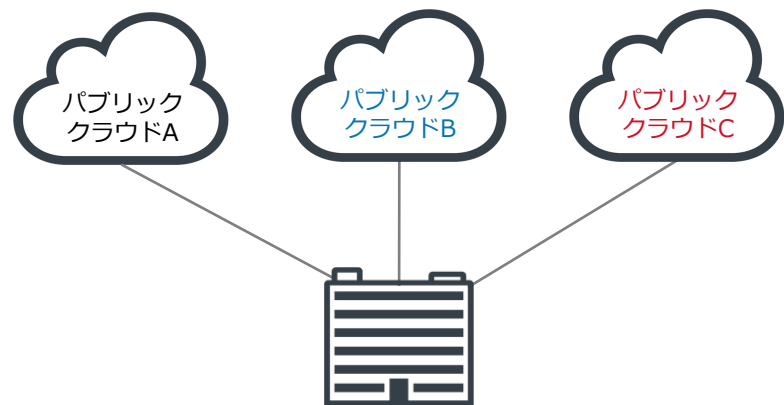
- パブリッククラウドを仮想的に切り分けて自社占有の環境を構築
- オンプレミス型と比較して導入の手間がかからないが、カスタマイズはしにくい
- **自社専用のクラウドを手軽に導入したい企業におすすめ**

オンプレミス型プライベートクラウド

- クラウド環境の構築に必要なサーバーを自社で準備する
- サーバーの導入や運用、保守に手間はかかるが、カスタマイズ性が高くセキュリティを向上できる
- **機密性の高い情報を取り扱う機会が多く、障害発生時に自社対応したい企業におすすめ**

2. クラウド環境の種類

複数のパブリッククラウドを併用して構築した環境は「マルチクラウド」、オンプレミスやパブリッククラウド、プライベートクラウドなどを組み合わせた環境は「ハイブリッドクラウド」と呼ばれています。



マルチクラウド

- 異なる複数の企業が提供するパブリッククラウドを、相互接続した環境
- 各パブリッククラウドの必要な機能を組み合わせて利用することで、最適な環境を構築できる
- 1社への依存率が低くなり、リスク分散できる
- 運用に手間がかかり、コストが高くなる

概要
メリット
デメリット



ハイブリッドクラウド

- パブリッククラウド、プライベートクラウド、オンプレミスの物理サーバーを相互接続した環境
- コストを抑えながら、必要に応じて拡張できる
- 自社で用意した物理サーバーの使用でセキュリティの向上も期待できる
- 構成が複雑で、導入・運用には専門知識が必要

3. クラウド接続の留意点

クラウド環境を構築するには、自社にとって最適なクラウドの種類や組み合わせ方だけでなく、接続方法も検討する必要があります。

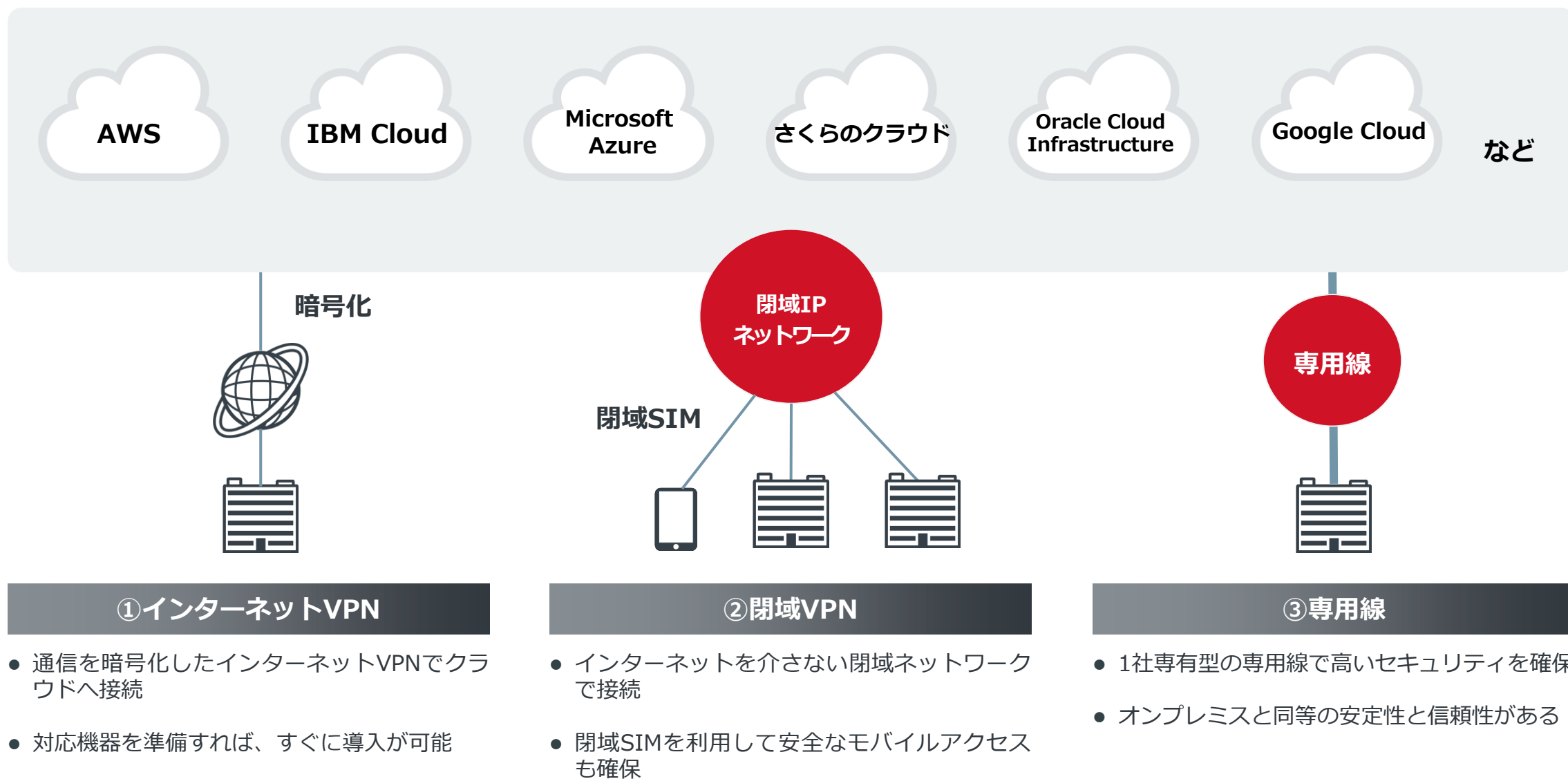
クラウドサービスには一般的にインターネット経由で接続します。しかしインターネットは誰でも利用できるオープンなネットワークであるため、**インターネット経由の接続はセキュリティリスクが懸念されます。**

またセキュリティ面だけでなく、通信品質を考慮することも大切です。トラフィックに対して回線帯域が不十分であればクラウドサービスの挙動が遅くなり、業務パフォーマンスに悪影響を与えてしまいます。

安全性や通信品質を確保しながらクラウドサービスを快適に利用するには、ネットワーク選びが重要です。次に、代表的な3種類の接続方法を紹介します。



4. クラウドと社内をつなぐ3種類の接続方法



5. クラウド接続するネットワークサービスを選ぶポイント

お客様のニーズによって、ネットワークサービスの選び方は異なります。ここでは3つのケースを紹介します。

コストを抑えながら、最低限のセキュリティ対策を実施したい

インターネットVPNがおすすめ

VPN構築で安全性を確保しながら、インターネット経由であるためコストを低減できる。

遅延なく安全・高品質で、複数拠点をつなぐ環境を構築したい

閉域VPNがおすすめ

複数の拠点を接続でき、安全な社内ネットワークの構築に役立つ。

クラウドと一拠点の接続で、高いセキュリティ・通信品質を実現したい

専用線がおすすめ

クラウドと拠点の1対1接続であるためコストは最も高いが、安全性や品質を確保できる。

	インターネットVPN	閉域VPN	専用線
構成図			
安全性	△	○	◎
通信品質	△	○	◎
コスト	◎	○	△
用途例	開発テスト環境	各拠点から基幹システムへのアクセス	大容量データの配信

6. アルテリアの「セキュアクラウドアクセス」とは？

アルテリアの「セキュアクラウドアクセス」は、クラウドサービスまで閉域ネットワークで構築し、安全性と安定性の両方を提供します。

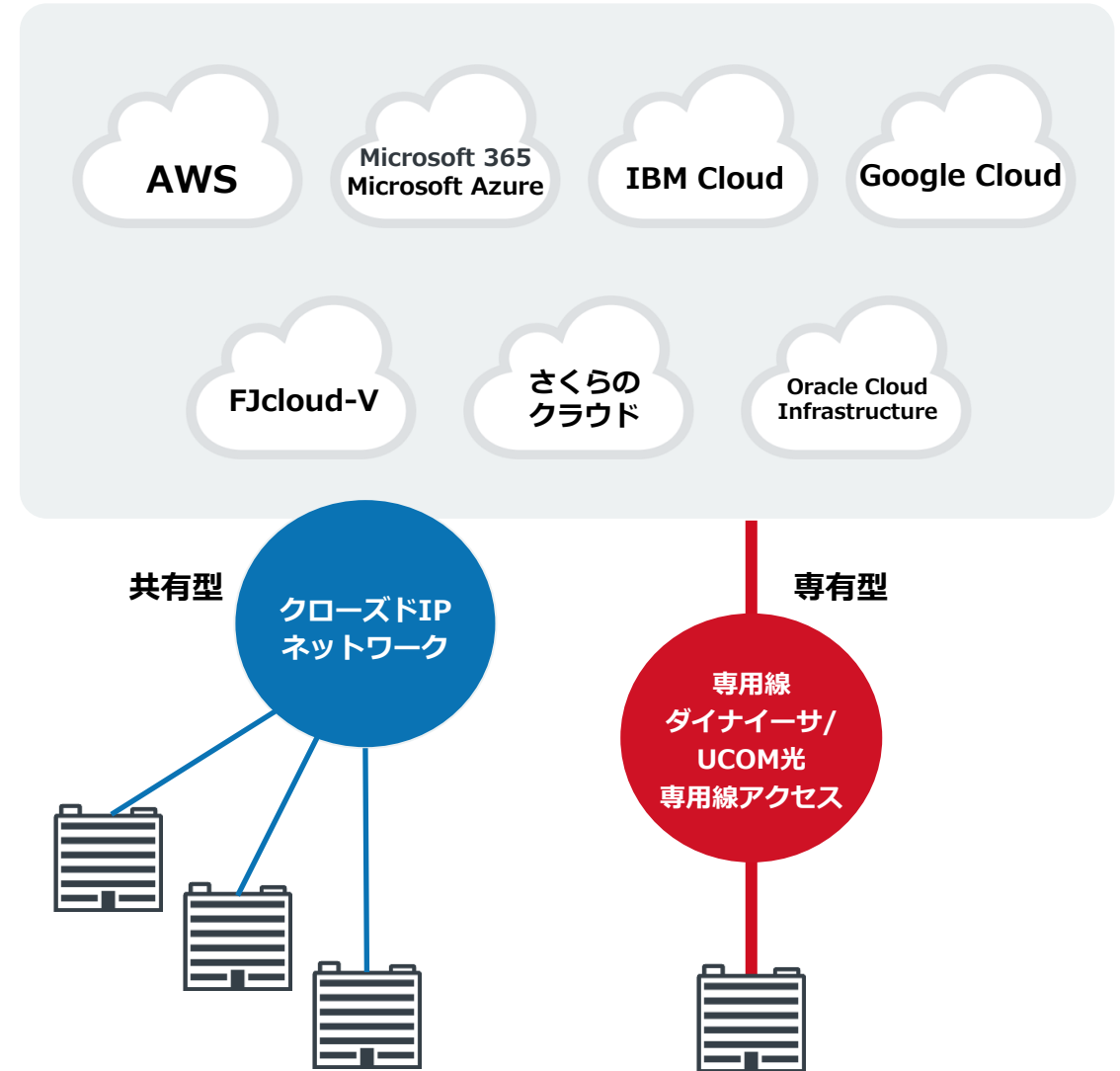
セキュアクラウドアクセスの特徴

1. クラウドサービスまで閉域接続
2. 国内外の多様なクラウドサービスに対応
3. 豊富な帯域メニューから選択が可能
4. 「共有型」と「専有型」の豊富な帯域メニューから選択できる
5. マルチクラウド環境の構築も可能

セキュアクラウドアクセスの「共有型」と「専有型」とは？

「共有型」は、通信事業者のクローズドIPネットワーク網を利用する回線サービスです。

対する「専有型」は、自社とクラウドを専用線でつなぐ回線サービスのこと。より安定的で高速な通信環境を構築できます。



6. アルテリアの「セキュアクラウドアクセス」とは？

アルテリアの「セキュアクラウドアクセス」の導入時に、「マルチクラウドオプション」を選択することができます。

マルチクラウドオプションの特徴

相互接続サービス「Equinix Fabric」を利用し、ひとつのアクセス回線でAWS ※、Azure、Google Cloud、Oracle Cloud、IBMなど複数の異なるパブリッククラウド接続が迅速に実現します。

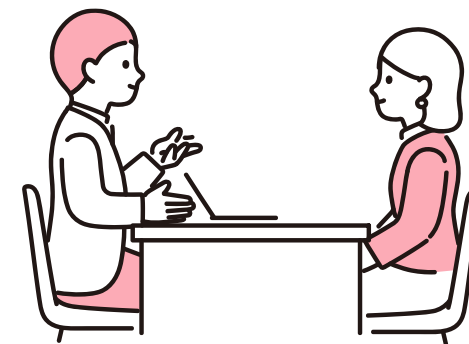
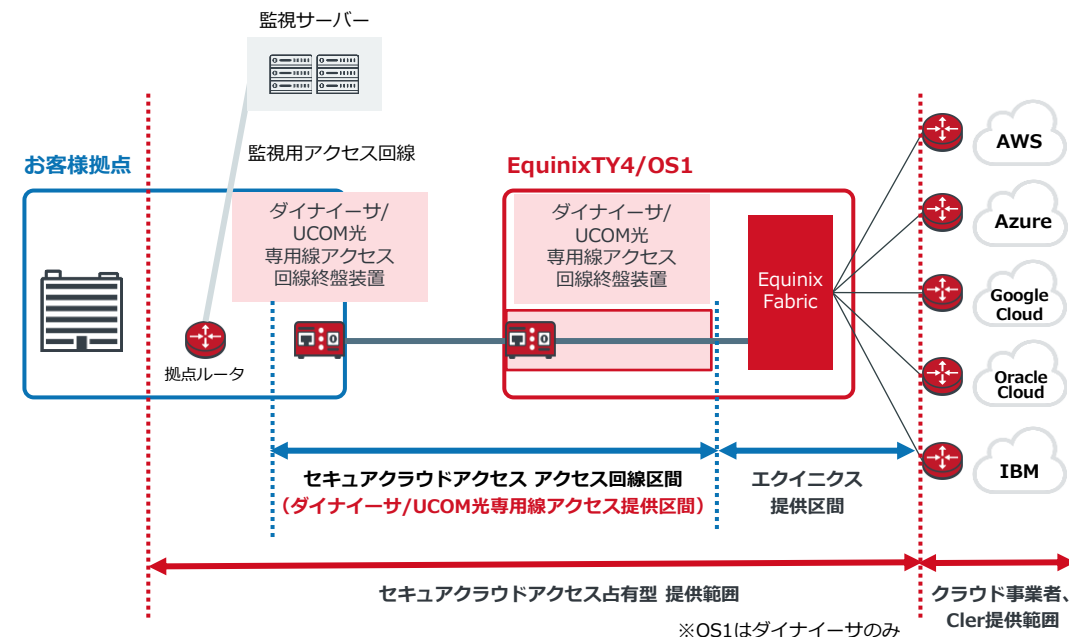
アルテリア・ネットワークスの強みとは？

アルテリアには豊富なラインアップがあり、**フレッツ回線などを用いて複数のパターンを組み合わせることが可能**です。

たとえば「メイン回線とバックアップ回線のキャリアを分ける」、「オンプレミスとクラウドでハイブリッド環境を構築」など、お客様の状況に応じて柔軟にご提案いたします。

※ アマゾン ウェブ サービス、AWSは、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

提供構成イメージ



7. 事例①

AWSと本社間の安全な接続に利用 | 日本テレビ放送網株式会社様

課題

リモートワークへの対応や業務効率化、コスト削減を目的にオンプレミスからAWS※への移行を検討。AWSと本社を結ぶ閉域ネットワークの構築が必要だった。

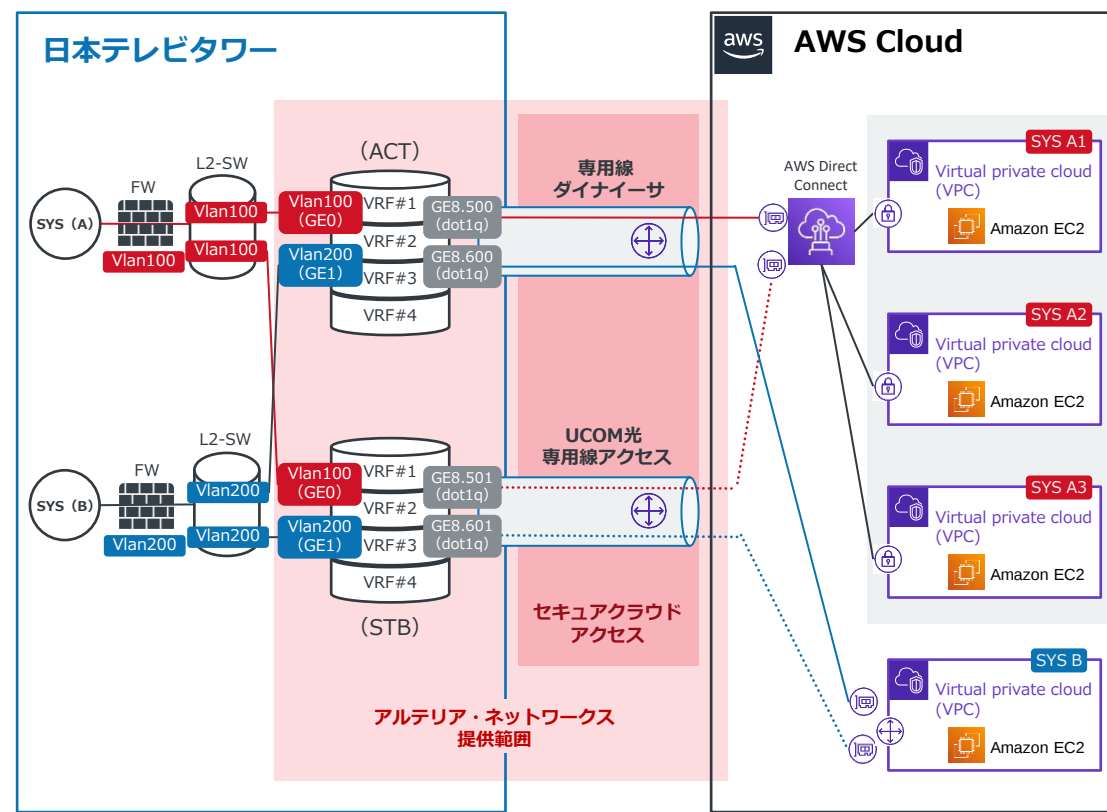
解決

AWSと本社間の接続にセキュアクラウドアクセスを採用し、低コストで冗長化を実現。 VRFを使って1台のルーターを複数の仮想ルーター構成にすることで、設備コストや運用・管理コストの低減などのメリットも得られた。

約6,000人のユーザーがAWS上のシステムを利用しており、不満の声は上がらず問題なく利用できている。

※ アマゾン ウェブ サービス、AWSは、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

日本テレビ放送網株式会社



7. 事例②

大容量データ配信に10Gbps回線と専用線を導入 | 株式会社クレッセント様

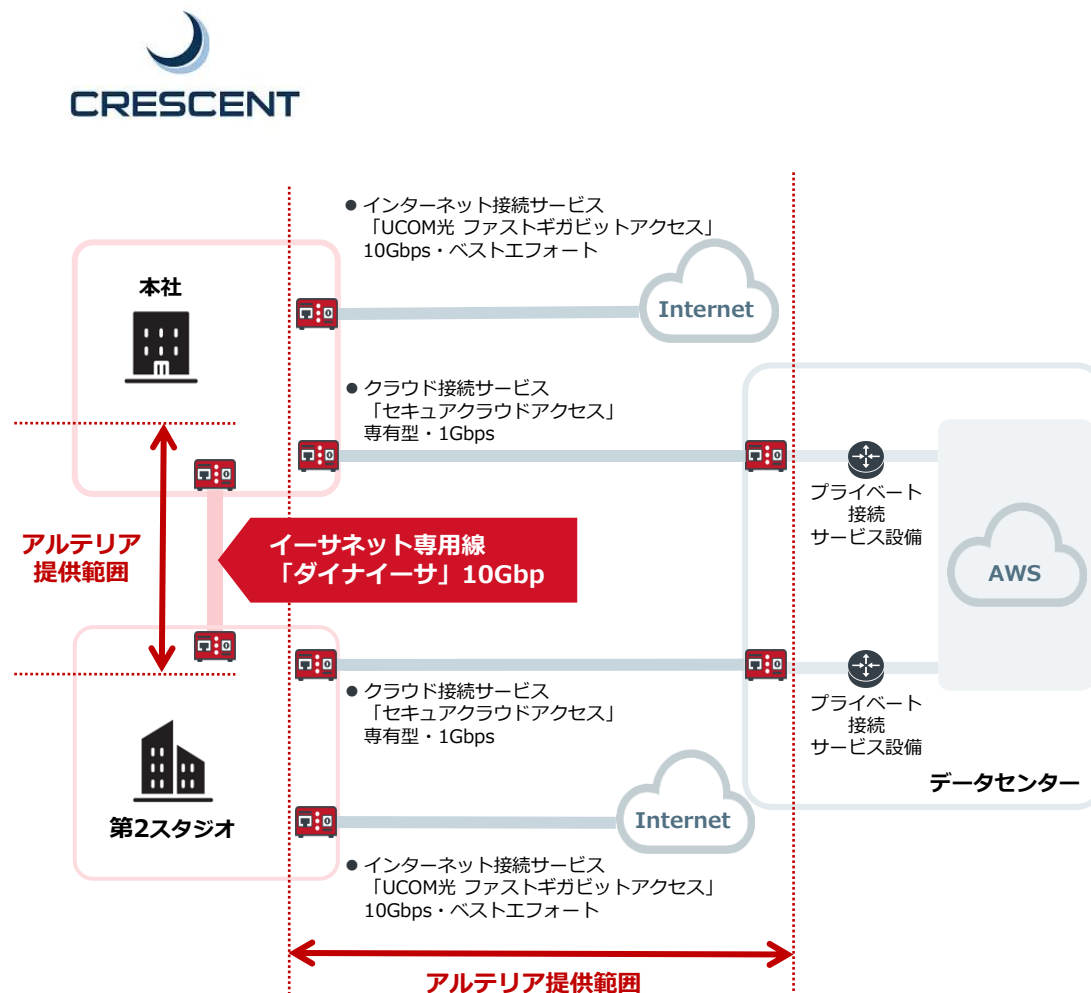
課題

撮影スタジオのリニューアルに伴い、ボリュメトリックビデオなど大容量の映像を配信するために、10Gbps回線を導入して通信品質を強化する必要があった。

解決

インターネット回線や専用線、ネットワーク機器の10Gbps化だけでなく、**AWS※への接続に専用線によるプライベート接続を採用。**

撮影スタジオの外からでも映像をチェックしやすくなり、スタジオを利用するお客様の利便性が向上した。



※ アマゾン ウェブ サービス、AWSは、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

7. 事例③

通信速度の改善とコスト削減を実現 | 株式会社快活フロンティア様

課題

シェアリングスペース「快活CLUB」などの店舗数が増加するなか、通信コストがかさみ、フリーWi-Fiの通信速度が低下していた。また省人化と提供サービスの質の向上を同時に進めたい。

解決

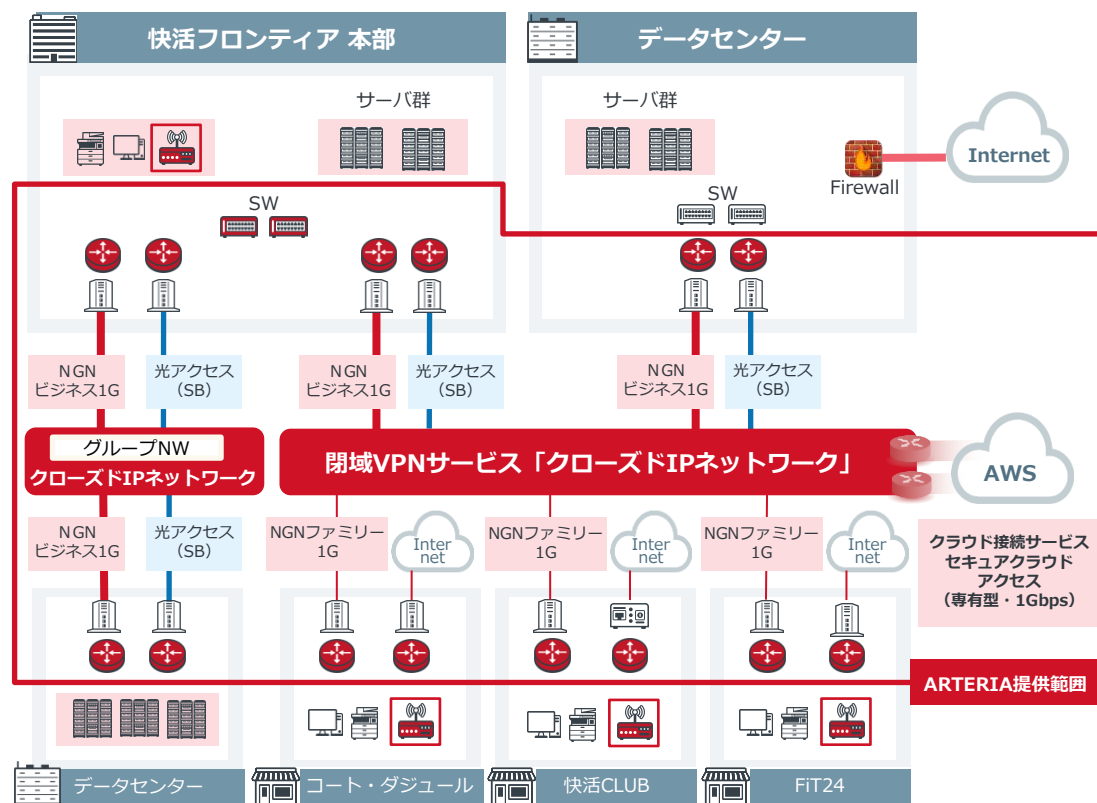
閉域IPネットワークでAWS※と接続し、通信の利用度に応じたアクセス回線で、通信品質を維持しながら大幅なコスト削減を実現。

Wi-Fiパスワード管理やタブレットの導入など、お客様の快適なネット環境や省人化の仕組み作りを支援した。

※ アマゾン ウェブ サービス、AWSは、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。



快活フロンティア



7. 事例④

データ移行のため2本の専用線を導入 | 株式会社サイバーエージェント様

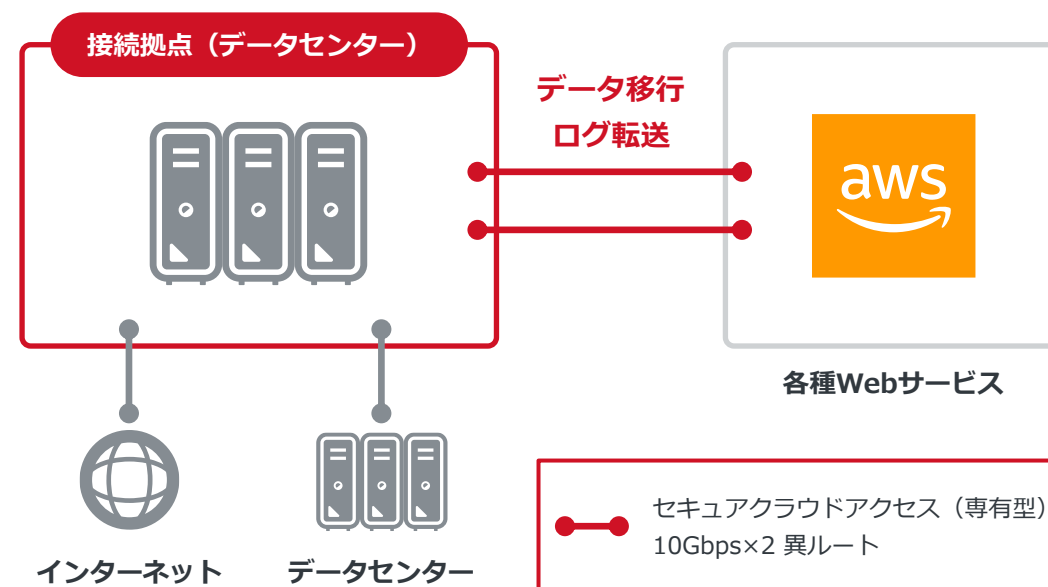
課題

アメブロやAbema TVなどさまざまなサービスを迅速に開発し提供するなか、データセンターからAWSへログを転送する必要があり、専用線接続を検討していた。

解決

セキュアクラウドアクセスの専有型を2回線導入し、データセンターとAWS※を接続。10Gbpsの大容量回線を使うことで、ユーザーやエンジニアの利用制限をなくした。

サービス開発のスピード感をインフラで支える体制・運用を構築することができている。



※ アマゾン ウェブ サービス、AWSは、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

お問い合わせ・ご相談

サービスの詳細や不明点など、下記のフォームによりお問い合わせください。

[> お問い合わせフォームはこちら](#)

ARTERIA

アルテリア・ネットワークス株式会社

www.arteria-net.com

本 社

〒105-0004 東京都港区新橋六丁目9番8号 住友不動産新橋ビル

名古屋事業所

〒461-0002 愛知県名古屋市東区代官町35番16号 第一富士ビル5階

大阪事業所

〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町二丁目1番6号 堺筋本町センタービル9階

福岡事業所

〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南一丁目3番6号 第三博多偕成ビル5階

本資料に含まれる全てのコンテンツの著作権およびその他の権利は当社または当社に権利を許諾した権利者に帰属します。
当社または権利者の許諾を得ず、本資料を複製・転用・目的外利用することは固く禁じます。

ARTERIA